

## ユニバーサルデザインの視点から授業を評価する

### 1 授業の基本

それぞれ4段階（4当てはまる ～ 1当てはまらない）で評価

- ① ☐ そもそも何の教科か。
- ② ☐ 教員は、学習指導要領の目標や内容を理解しているか。
- ③ ☐ 【目標】児童に、学習のねらいを明確に示しているか。
- ④ ☐ 【展開】本時の目標を達成するための学習活動となっているか。
- ⑤ ☐ 【評価】児童は、どのような力を身に付けたか。

### 2 子供にやさしい学習環境

- ⑥ ☐ 児童に、学習の見通しを持たせているか。
- ⑦ ☐ 児童に、学習のポイントを示しているか。
- ⑧ ☐ ICTを活用して、視覚化しているか。
- ⑨ ☐ 児童の参加の促進を工夫しているか。
- ⑩ ☐ ワークシートを構造化しているか。

### 3 子供にやさしい授業

- ⑪ ☐ 児童の発達段階や学習状況を踏まえた指導計画を立てているか。
- ⑫ ☐ 児童の興味・関心を引き出す教材開発をしているか。
- ⑬ ☐ 児童の主体的な学習を促しているか。
- ⑭ ☐ 児童が自分で考え、解決していく授業展開をしているか。
- ⑮ ☐ 児童の考えを広げ、深める授業展開をしているか。
- ⑯ ☐ 学び合いや教え合いにより、集団での高め合いを工夫しているか。
- ⑰ ☐ 児童の「つまづき」を予測し、手立てを用意しているか。
- ⑱ ☐ 本時のねらいに迫る発問を工夫しているか。
- ⑲ ☐ 児童の理解を深める板書を工夫しているか。
- ⑳ ☐ 本時の振り返りをし、「分かった」「できた」の達成感につなげているか。

### 4 私だったら…、授業の構想

|  |
|--|
|  |
|--|